

FSA 30.0

STIHL



2 - 26 取扱説明書



目次

1	ごあいさつ.....	2
2	はじめに.....	2
3	概要.....	3
4	安全に関する重要事項.....	4
5	刈払機の使用準備.....	11
6	バッテリーの充電、LED.....	12
7	刈払機の組み立て.....	13
8	刈払機の調整.....	15
9	バッテリーの取り外しと取り付け.....	15
10	刈払機のオン/オフ切り替え.....	16
11	刈払機とバッテリーのテスト.....	16
12	刈払機の操作.....	17
13	作業後.....	17
14	運搬.....	18
15	保管.....	18
16	清掃.....	19
17	整備.....	19
18	修理.....	19
19	トラブルシューティング.....	19
20	技術仕様.....	21
21	カッティングアタッチメントとデフレクターの組み合わせ.....	22
22	スペアパーツおよびアクセサリ.....	22
23	廃棄.....	22
24	EC 適合証明書.....	22
25	UKCA 適合宣言.....	23
26	アドレス.....	23
27	パワーツールの安全上の一般的警告事項.....	23

1 ごあいさつ

お客様各位

STIHL 製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。弊社では、お客様のご要望を満たす高品質の製品を開発し、製造しております。弊社の製品は、極端な条件下においても高い信頼性が発揮されるよう設計されております。

STIHL 社は上質なサービスでも定評があります。弊社販売店は、お客様にご満足いただける助言や商品説明だけでなく、広範なサービスサポートも提供しております。

STIHL 社は天然資源を持続可能かつ責任ある方法で利用することに尽力しており、この方針を明示しています。本取扱説明書は、製品の長きに渡る耐用年数において、お客様が STIHL 製品を安全かつ環境に優しい方法で使用するのに役立つよう考えられています。

弊社をご愛顧いただきまして有難うございます。今後とも STIHL 製品をご愛用いただきますようお願い申し上げます。



Dr. Nikolas Stihl

重要！初めて使用する前に取扱説明書をお読みください。取扱説明書は、必要なときに参照できるように安全な場所に保管してください。

2 はじめに

2.1 適用文書

現地の安全規則が適用されます。

- ▶ この取扱説明書に加えて以下の文書を読み、内容を理解し、保管してください：
 - 使用するカッティングツールの取扱説明書と梱包材
 - STIHL バッテリーとバッテリー内蔵型製品の安全上の注意事項：www.stihl.com/safety-data-sheets

2.2 本書内の警告表示



- 重傷または死亡の原因となるおそれのある危険を示しています。
 - ▶ 記載されている対策を講じると、重傷または死亡事故を防ぐことができます。

注記

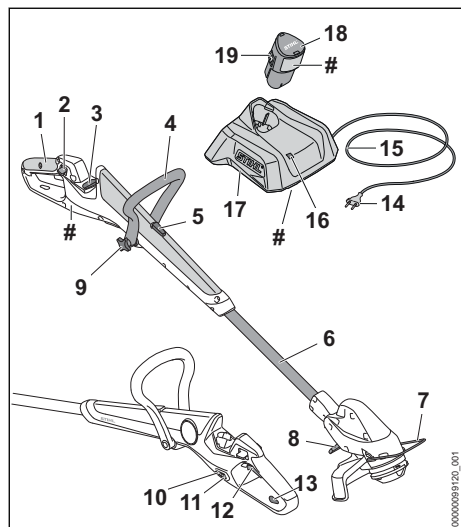
- 物的損害の原因となるおそれのある危険を示しています。
 - ▶ 記載されている対策を講じると、物損事故を防ぐことができます。

2.3 本文中の記号

 この記号は、本取扱説明書の章を示します。

3 概要

3.1 刈払機、バッテリー、充電器



- 1 **コントロールハンドル**
コントロールハンドルは、刈払機の操作、保持、制御に使用します。
- 2 **ロッキングレバー**
ロッキングレバーを使用して、トリガーのロックを解除します。
- 3 **バッテリーコンパートメント**
バッテリーコンパートメントはバッテリーを収納します。
- 4 **ループハンドル**
ループハンドルは、刈払機の保持と制御に使用します。
- 5 **トリガースイッチロックアウト**
トリガースイッチロックアウトはシャフトの長さ調整をブロックします。
- 6 **シャフト**
シャフトは、全コンポーネントを連結します。
- 7 **パンプガード**
パンプガードは、カッティングツールが物に接触しないように保護します。
- 8 **レバー**
レバーはシャフトとモーターハウジングの間の角度調整をブロックします。
- 9 **スターノブナット**
スターノブナットはループハンドルをシャフトに固定します。

10 LED

LED はバッテリーの充電状態と障害を表示します。

11 プッシュボタン

プッシュボタンによって、刈払機上の LED を起動します。

12 トリガー

トリガーを使用して、刈払機のスイッチをオンにしてからオフにします。

13 吊り下げ穴

吊り下げ穴は、刈払機の吊り下げに使用します。

14 電源プラグ

電源プラグは接続ケーブルとコンセントを接続します。

15 接続ケーブル

接続ケーブルは充電器と電源プラグを接続します。

16 LED

LED は充電器の状態を表示します。

17 充電器

充電器を使用してバッテリーを充電します。

18 バッテリー

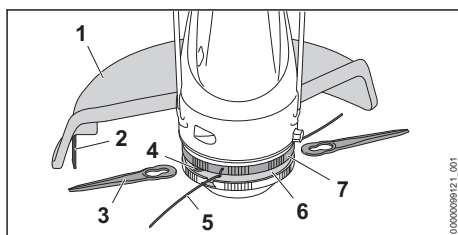
刈払機にはバッテリーから電力が供給されます。

19 ロッキングフック

ロッキングフックを使用して、バッテリーコンパートメント内でバッテリーを固定します。

機械番号が記載された銘板

3.2 デフレクターおよびカッティングツール



1 デフレクター

デフレクターは、使用者を飛散物やカッティングツールとの接触から守ります。

2 ライン制限ブレード

ライン制限ブレードは、ナイロンコードを適切な長さに切断するために使用します。

3 ブレード

ブレードは草を切断します。

4 ホルダー

ホルダーはブレードの固定に使用します。

5 ナイロンコード

ナイロンコードは草を切断します。

6 ラインスプール/カッターヘッド

ラインスプール/カッターヘッドはナイロンコードとブレードを保持します。

7 ファンホイール

ファンホイールによって電動モーターを冷却します。

3.3 記号

この記号は刈払機、カッティングツール、バッテリーおよび充電器で見受けられ、その意味は以下の通りです：



この記号は、シャフトの長さが調整可能であることを示しています。



この記号は、コントロールハンドルが 90°回転可能であることを示しています。



この記号は、ナイロンコードをどれだけ挿入できるかを示しています。



この記号は、ナイロンコードをどの方向へ挿入できるかを示しています。



この位置では、刈払機はエッジアに変換されています。



この記号は、カッティングツールの最大回転数を示しています。



LED が緑色で点灯または点滅する。バッテリーが充電中です。



LED が赤色で点滅する。バッテリーと充電器が電氣的に接触していないが、バッテリーまたは充電器内部に障害があります。



指令 2000/14/EC に準拠した音響パワーレベル保証値。単位 dB(A)。製品の騒音が比較可能になります。



記号の横にある数値は、バッテリーメーカーの仕様に基づいたバッテリーのエネルギー含有量を示しています。使用時に利用できるエネルギー含有量はそれより小さくなっています。



電気製品は乾燥した密閉空間で使用してください。



製品を家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。



取扱説明書を読み、内容を理解し、保管してください。

4 安全に関する重要事項

4.1 警告標示

4.1.1 刈払機

刈払機上の警告マークの意味は以下の通りです：安全上の指示とその対策を遵守してください。



取扱説明書を読み、内容を理解し、保管してください。



保護メガネを着用してください。



刈払機を雨や湿気から守ってください。



飛散物に関する安全上の指示とその対策を遵守してください。



安全な距離を維持してください。



作業中断中、運搬中、保管中、メンテナンス・修理中はバッテリーを取り出してください。

4.1.2 バッテリー

バッテリー上の警告マークの意味は以下の通りです：



安全上の指示とその対策を遵守してください。



取扱説明書を読み、内容を理解し、保管してください。



バッテリーを熱や火から保護してください。



バッテリーを液体に浸さないようにしてください。

4.1.3 充電器

充電器上の警告マークの意味は以下の通りです：安全上の指示とその対策を遵守してください。





取扱説明書を読み、内容を理解し、保管してください。



充電器を雨や湿気から守ってください。

4.1.4 草刈ヘッド用デフレクター

草刈ヘッド用デフレクター上の警告マークの意味は以下の通りです：



このデフレクターを草刈ヘッド用に使用してください。



このデフレクターはブラッシュナイフ用には使用しないでください。

4.2 正しい使用方法

芝刈機/エッジャー（刈払機）STIHL FSA 30.0 は草刈りに使用します。

雨天時に刈払機を使用することは許可されていません。

刈払機にはバッテリー STIHL AS から電力が供給されます。

▲ 警告

- STIHL が刈払機用に許可していないバッテリーと充電器を使用すると、火災や爆発に至る可能性があります。人員が重傷または致命傷を負い、物的損害に至る可能性があります。
 - ▶ 刈払機はバッテリー STIHL AS と併用してください。
 - ▶ バッテリー STIHL AS は、充電器 STIHL AL 1 で充電してください。
- 刈払機、バッテリーまたは充電器を正しく使用しないと、人員が重傷または致命傷を負い、物的損害に至る可能性があります。
 - ▶ 刈払機、バッテリーおよび充電器は、この取扱説明書の記載通りに使用してください。

4.3 使用者への要求事項

▲ 警告

- 適切な指導を受けていない使用者は、刈払機、バッテリー、充電器の危険の認識や評価を行うことはできません。使用者または他の人員が重傷または致命傷を負う可能性があります。
 - ▶ 取扱説明書を読み、内容を理解し、保管してください。



- ▶ 刈払機、バッテリー、充電器を譲渡する場合：取扱説明書も必ず添付してください。
- ▶ 使用者が以下の必要条件を満たしていることを確認してください：
 - － 使用者は十分な休息をとっている。
 - － 使用者は刈払機、バッテリー、充電器を使用するために適切な身体的、感覚的、精神的状態にある。使用者の身体的、感覚的、または精神的機能が制限されている場合、その使用者は責任者の監督または指示の下でのみ作業を行うことができます。
 - － 使用者は刈払機、バッテリー、充電器の危険の認識や評価を行うことができる。
 - － 法定年齢に達しているか、国の規則や規制に従い、監督下で職業訓練を受けている。
 - － 初めて刈払機で作業し、充電器を使用する前に、使用者は STIHL サービス店または専門知識を有する人物から指導を受けている。
 - － 使用者はアルコール、薬または薬物の影響を受けていない。
- ▶ ご不明な点がございましたら、STIHL サービス店にお問い合わせください。

4.4 衣服と装備

▲ 警告

- 作業中は、物体が高速で飛散することがあります。それにより負傷するおそれがあります。
 - ▶ 確実にフィットする保護メガネを着用してください。欧州基準 EN 166 または日本の基準に従って試験され、ラベルが付けられている適切な保護メガネが販売されています。
 - ▶ フェイスシールドを着用してください。
 - ▶ 丈夫な素材の長ズボンを着用してください。
- 作業中は、粉塵が巻き上げられることがあります。巻き上げられた粉塵は気道を傷付け、アレルギー反応を引き起こすおそれがあります。
 - ▶ 粉塵が発生するときは：防塵マスクを着用してください。
- 不適切な衣服は樹木、茂み、または刈払機に絡まる可能性があります。適切な衣服を着用しないと、重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 体にぴったりフィットする衣服を着用してください。
 - ▶ スカーフや装身具は外してください。
- 作業中、回転するカッティングアタッチメントに接触するおそれがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 頑丈な靴を着用してください。
 - ▶ 丈夫な素材の長ズボンを着用してください。



- 清掃や整備を行っている間や、カッティングアタッチメントの着脱時には、カッティングアタッチメントやライン制限ブレードに接触する危険があります。それにより負傷するおそれがあります。
 - ▶ 耐切創手袋を着用してください。
- 不適切な履物を履くと、滑るおそれがあります。それにより負傷するおそれがあります。
 - ▶ 靴底が滑らず、頑強な作りの、足が露出しない靴を着用してください。

4.5 作業エリアおよび周辺環境

4.5.1 刈払機

▲ 警告

- 見物人、子供、動物は、刈払機または飛散物の危険を認識していないだけでなく、そうした危険を認知できません。見物人、子供、動物は重傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。



▶ 作業エリアから 15 m 以内の範囲に見物人、子供、動物を侵入させないでください。

- ▶ 器物から 15 m の距離を維持してください。
- ▶ 刈払機を無人のまま放置しないでください。
- ▶ 子供が刈払機で遊ばないように注意してください。
- 刈払機は、防水構造ではありません。雨の中または湿った場所で作業を行うと、感電することがあります。使用者が負傷し、刈払機が損傷するおそれがあります。



▶ 雨の中または湿っている場所では作業しないでください。

- 刈払機の電気部品から火花が発生することがあります。可燃物や爆発物が存在する環境下では、火花によって火災や爆発が起きることがあります。それにより重傷、死亡事故、器物損壊事故が生じるおそれがあります。
 - ▶ 引火または爆発が起きやすい環境下では、作業しないでください。

4.5.2 バッテリー

▲ 警告

- 関係者以外、子供および動物は、バッテリーの危険性について認識することも判断することもできません。部外者、子供および動物が重傷を負う恐れがあります。
 - ▶ 部外者、子供および動物が近づかないようにしてください。
 - ▶ バッテリーを誰もいないところに放置しないでください。

- ▶ 子供がバッテリーで遊ばないように安全を確保してください。
- バッテリーは、すべての周囲条件に対して保護されているわけではありません。バッテリーが特定の環境要因にさらされると、バッテリーが発火・爆発したり、修理不能な損傷を受けたりするおそれがあります。人員が重傷を負い、物的損害に至る可能性があります。



▶ バッテリーを熱や火から保護してください。

▶ バッテリーを火の中に投げ込まないでください。

- ▶ バッテリーは、規定の温度範囲を超える環境下で充電、使用および保管しないようにしてください。■ 20.5。



▶ バッテリーを液体に浸さないようにしてください。

- ▶ バッテリーを小さな金属部品に近づけないでください。
- ▶ バッテリーを高圧にさらさないでください。
- ▶ バッテリーをマイクロ波にさらさないでください。
- ▶ バッテリーを化学物質や塩分から保護してください。

4.5.3 充電器

▲ 警告

- 部外者および子供は、充電器および電流の危険性を認識することも判断することもできません。部外者、子供、動物が、重傷または致命傷を負う可能性があります。
 - ▶ 部外者、子供および動物が近づかないようにしてください。
 - ▶ 子供が充電器で遊ばないように安全を確保してください。
- 充電器は防水仕様ではありません。雨天時や湿気の多い周囲環境で作業を行うと、感電するおそれがあります。使用者が怪我を負い、充電器が損傷する可能性があります。



▶ 雨天時や湿気の多い周囲環境では操作しないでください。

- 充電器はすべての環境要因に対して完全に保護されているわけではありません。充電器が特定の環境要因にさらされると、充電器が発火・爆発するおそれがあります。人員が重傷を負い、物的損害に至る可能性があります。
 - ▶ 充電器は乾燥した密閉空間で使用してください。
 - ▶ 可燃性や爆発性のある環境では、充電器を操作しないでください。

- ▶ 可燃性のある表面では、充電器を操作しないでください。
- ▶ 充電器は、規定の温度範囲を超える環境下で使用および保管しないでください、 20.5。
- 接続ケーブルにつまづく可能性があります。怪我を負ったり、充電器が損傷する可能性があります。
 - ▶ 接続ケーブルは床の上に平らになるように置いてください。

4.6 安全に関する条件

4.6.1 刈払機

刈払機は、以下の条件が満たされている場合に安全な状態となります：

- 刈払機が損傷していないこと。
- 刈払機が清潔かつ乾燥した状態にあること。
- 操作部が正常に機能し、改造されていない。
- 本取扱説明書で指定されているカッティングツールとデフレクターの組み合わせが取り付けられている。
- カッティングツールとデフレクターが適切に装着されている。
- 本刈払機用の STIHL 純正アクセサリが装着されている。
- アクセサリが適切に装着されている。

▲ 警告

- 安全な状態ではない場合、部品が正常に機能しなくなり、安全装置が作動しなくなる可能性があります。人員が重傷または致命傷を負う可能性があります。
 - ▶ 刈払機は必ず損傷のない状態で使用してください。
 - ▶ 刈払機が汚れている、または濡れている場合：刈払機を清掃して、乾かしてください。
 - ▶ 刈払機を改造しないでください。例外：本取扱説明書で指定されているカッティングツールとデフレクターの組み合わせで装着した場合。
 - ▶ 操作部が機能しない場合：刈払機を使用しないでください。
 - ▶ 金属製カッティングツールを取り付けしないでください。
 - ▶ 本刈払機用の STIHL 純正アクセサリを装着してください。
 - ▶ カッティングツールとデフレクターは、本取扱説明書の記載通りに取り付けてください。
 - ▶ アクセサリは、本取扱説明書またはアクセサリに付属する取扱説明書に記載されている通りに装着してください。
 - ▶ 刈払機の開口部に物を差し込まないでください。

- ▶ 摩耗や損傷のあるラベルは交換してください。
- ▶ ご不明な点がございましたら、STIHL サービス店にお問い合わせください。

4.6.2 デフレクター

デフレクターは、以下の条件が満たされている場合、安全な状態です：

- デフレクターが損傷していない。
- ライン制限ブレードが適切に取り付けられている。

▲ 警告

- 製品が安全要件を満たしていないと、コンポーネントが正常に作動しなくなるか、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ デフレクターは必ず損傷のない状態で使用してください。
 - ▶ ライン制限ブレードを適切に取り付けて作業を行ってください。
 - ▶ ご不明な点があれば：最寄りの STIHL サービス店にご連絡ください。

4.6.3 草刈ヘッド

草刈ヘッドは、以下の条件が満たされている場合に安全な状態となります：

- 草刈ヘッドが損傷していない。
- 草刈ヘッドが妨害されていない。
- 草刈ヘッドが適切に装着されており、しっかりと締め付けられている。
- カッティングラインが適切に装着されている。
- 草刈ヘッド PolyCut とプラスチック製ブレードを使用する場合：
 - プラスチック製ブレードに損傷も亀裂もない。
 - プラスチック製ブレードが適切に装着されている。
- 摩耗限界を超過していない。

▲ 警告

- 安全な状態にない場合は、草刈ヘッド、カッティングラインまたはプラスチック製ブレードの一部が外れて、飛散する可能性があります。重傷を負う可能性があります。
 - ▶ 損傷のない草刈ヘッドで作業してください。
 - ▶ 草刈ヘッド PolyCut とプラスチック製ブレードを使用する場合：損傷のないプラスチック製ブレードで作業してください。
 - ▶ カッティングラインまたはプラスチック製ブレードの代わりに金属物を使用しないでください。
 - ▶ 摩耗限界に注意してそれを守ってください。

- ▶ 不明な点がある場合：STIHL サービス店までご来店ください。

4.6.4 バッテリー

バッテリーは、以下の条件が満たされている場合に安全な状態となります：

- － バッテリーが損傷していない。
- － バッテリーが清潔かつ乾燥した状態にあること。
- － バッテリーが正常に機能し、改造されていない。

▲ 警告

- 安全な状態ではない場合、バッテリーが安全に機能しなくなる可能性があります。重傷を負う可能性があります。
 - ▶ 損傷がなく、正常に機能するバッテリーを使用して作業してください。
 - ▶ 損傷または故障しているバッテリーは充電しないでください。
 - ▶ バッテリーが汚れている場合：バッテリーを清掃してください。
 - ▶ バッテリーが濡れているか湿っている場合：バッテリーを乾かしてください、☑ 20.6。
 - ▶ バッテリーを改造しないでください。
 - ▶ バッテリーの開口部に物を差し込まないでください。
 - ▶ バッテリーの電気接点を金属製品と接続すること、ならびに短絡することは控えてください。
 - ▶ バッテリーを開けないでください。
 - ▶ 摩耗や損傷のあるラベルは交換してください。
- 損傷したバッテリーから液体が漏れることがあります。この液体が皮膚や目に触れると、皮膚や目が炎症を起こす可能性があります。
 - ▶ 液体に触れないようにしてください。
 - ▶ 皮膚に触れてしまった場合：大量の石鹸と水で接触した皮膚部分を洗い流してください。
 - ▶ 目に触れてしまった場合：大量の水で 15 分以上洗眼し、医師の診察を受けてください。
- 損傷や欠陥のあるバッテリーは、異臭を放ったり、煙が出たり、燃えたりすることがあります。人員が重傷または致命傷を負い、物的損害に至る可能性があります。
 - ▶ バッテリーから異臭がする、または煙が出ている場合：バッテリーの使用を中断し、可燃物から遠ざけてください。
 - ▶ バッテリーが燃えている場合：消火器または水を使用して、バッテリーの消火を試みてください。

4.6.5 充電器

充電器は、以下の条件が満たされている場合、安全な状態です：

- － 充電器が損傷していない。
- － 充電器が清潔かつ乾燥した状態にある。

▲ 警告

- 部品が安全要件を満たしていない場合は、正常に作動しなくなるか、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。その結果、重傷または致命傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 損傷した充電器は使用しないでください。
 - ▶ 充電器が汚れたり濡れたりした場合：充電器を掃除し、乾かしてください。
 - ▶ 絶対に充電器に改造を試みないでください。
 - ▶ 絶対に充電器の開口部に物を差し込まないでください。
 - ▶ 絶対に充電器の接点間を金属の物体で短絡しないでください。
 - ▶ 充電器を分解しないでください。

4.7 作業

▲ 警告

- 特定の状況下では、使用者が作業に集中できなくなる場合があります。使用者がつまづいて転倒し、重傷を負う可能性があります。
 - ▶ 冷静かつ思慮深く作業してください。
 - ▶ 明るさや視界が悪い場合：刈払機で作業しないでください。
 - ▶ 刈払機は一人で操作してください。
 - ▶ カuttingツールは地面に近い高さで動かしてください。
 - ▶ 障害物に注意してください。
 - ▶ 地面に立って作業し、バランスを保ってください。
 - ▶ 疲労を感じた場合：作業を中断して休憩してください。
- 回転中のカuttingツールに触れると、使用者が自分の手指を切ってしまう可能性があります。これによって使用者が重傷を負う恐れがあります。
 - ▶ 回転中のカuttingツールには触れないでください。
 - ▶ カuttingツールが物体によって動かなくなった場合：刈払機のスイッチをオフにし、バッテリーを取り外してください。まずこれを行ってから、障害物を取り除きます。
- 作業中に刈払機の挙動が変化したり異常を感じたりした場合は、刈払機が安全な状態ではなくなっている可能性があります。人員が重傷を負い、物的損害に至る可能性があります。

- ▶ 作業を終了し、バッテリーを取り出して、STIHL サービス店にお問い合わせください。
- 作業中は、刈払機が振動することがあります。
 - ▶ 手袋を着用してください。
 - ▶ 作業を中断して休憩してください。
 - ▶ 血行障害の兆候が現れた場合：医師の診察を受けてください。
- 作業中にカッティングツールが異物に当たると、その異物の全体または一部が高速で飛散することがあります。人員が怪我を負い、物的損害に至る可能性があります。
 - ▶ 作業範囲にある異物は取り除いてください。
- 回転中のカッティングツールが硬い物体に当たると、火花が発生し、カッティングツールが損傷する可能性があります。可燃物がある環境では、火花が火災の原因となることがあります。人員が重傷または致命傷を負い、物的損害に至る可能性があります。
 - ▶ 可燃物がある環境では作業しないでください。
 - ▶ カッティングツールが安全な状態にあることを確認してください。
- トリガーを放してもカッティングツールは短時間回転し続けます。重傷を負う可能性があります。
 - ▶ カッティングツールが回転しなくなるまで待つてください。

4.8 充電

▲ 警告

- 損傷または不具合のある充電器は、充電中に異臭がしたり、煙が発生したりする場合があります。その結果、負傷したり、器物が損壊したりするおそれがあります。
 - ▶ プラグを壁コンセントから抜いてください。
- 充電器は、放熱が不十分な場合、過熱して火災の原因となるおそれがあります。それにより重傷または致命傷を負ったり、器物が損壊したりすることがあります。
 - ▶ 充電器をカバーなどで覆わないでください。

4.9 電源への接続

以下が生じていると、通電部品に接触するおそれがあります。

- 電源ケーブルまたは延長ケーブルが損傷している。
- 電源ケーブルまたは延長ケーブルの電源プラグが損傷している。
- 電源コンセントが正しく設置されていない。

▲ 危険

- 通電部品に接触すると、感電するおそれがあります。それにより重傷または致命傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 電源ケーブル、延長ケーブル、各プラグが損傷していないことを確認してください。
- 

電源ケーブルまたは延長ケーブルが損傷している場合：

 - ▶ 損傷している部分に触らないでください。
 - ▶ 電源から電源プラグを抜きます。
- ▶ 手が乾いていることを確認してから電源ケーブル、延長ケーブル、または電源プラグに触れてください。
 - ▶ 電源ケーブルや延長ケーブルの電源プラグは、適切に設置され、ヒューズの定格が適切な感電防止コンセントに接続してください。
 - ▶ 漏電遮断器 (30 mA、30 ms) と共に充電器を設置してください。
 - 損傷するか、不適切な延長ケーブルは、感電の原因になることがあります。重傷や致命傷を負う危険があります。
 - ▶ ケーブルの断面積が適正な延長ケーブルを使用してください、☐ 20.4。

▲ 警告

- 充電中の不適切な線間電圧や周波数によって充電器に過電圧が生じるおそれがあります。充電器が損傷するおそれがあります。
 - ▶ 主電源の電圧と周波数が、充電器の銘板に記載されているデータと一致しているか確認してください。
- 充電器をテーブルタップに接続すると、充電中に電気部品に過負荷が加わるおそれがあります。部品が過熱し、火災が発生するおそれがあります。重傷や致命傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。
 - ▶ テーブルタップに接続した充電器・全電気機器の銘板に記載されている情報（消費電力）がテーブルタップの仕様を超えていないか確認してください。
- 電源ケーブルや延長ケーブルを不適切に配置すると、損傷したり、人がつまずいたりするおそれがあります。負傷事故が生じたり、電源ケーブルや延長ケーブルが損傷したりするおそれがあります。
 - ▶ 電源ケーブルと延長ケーブルはつまずかない位置に配置し、ケーブルが敷設されていることを表示してください。
 - ▶ 電源ケーブルと延長ケーブルは、張力が加わったり、絡まったりしないように配置してください。

- ▶ 電源ケーブルと延長ケーブルは、損傷したり、折れ曲がったり、つぶれたり、擦り切れたりしないように配置してください。
- ▶ 電源ケーブルと延長ケーブルは熱、オイル、化学薬品から保護してください。
- ▶ 電源ケーブルと延長ケーブルは、乾いた面に敷設してください。
- 延長ケーブルは使用中に熱を持ちます。熱を逃がすことができないと、火災が生じるおそれがあります。
 - ▶ ケーブルリールを使用する場合、ケーブルをリールから完全に引き出して使用してください。
- 配線や配管が壁の内部に敷設されている場合に充電器を壁に取り付けると、配線や配管が損傷することがあります。配線と接触すると、感電するおそれがあります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。
 - ▶ 充電器を取り付ける壁部分に配線や配管が通っていないことを確認してください。
- 本取扱説明書に従って充電器を壁に取り付けると、充電器やバッテリーが落下したり、充電器が過熱したりするおそれがあります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。
 - ▶ 充電器は、本取扱説明書に従って壁に取り付けてください。
- バッテリーを挿入したまま充電器を壁に取り付けると、バッテリーが充電器から落下することがあります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。
 - ▶ 充電器を壁に取り付けてからバッテリーを挿入してください。

4.10 運搬

4.10.1 刈払機

▲ 警告

- 刈払機は運搬中に倒れたり、ずれたりするおそれがあります。その結果、負傷したり、器物が損壊したりするおそれがあります。
 - ▶ バッテリーを取り外します。



- ▶ 転倒したり、ずれたりしないよう、刈払機を固定ストラップまたはネットで固定します。

4.10.2 バッテリー

▲ 警告

- バッテリーは、すべての周囲条件に対して保護されているわけではありません。特定の周囲

条件にさらされると、バッテリーは破損し、物的損害が生じるおそれがあります。

- ▶ 破損したバッテリーは絶対に輸送しないでください。
- ▶ 付属している場合は、バッテリーを付属品のバッグに入れて輸送してください。
- バッテリーは輸送中に倒れたり、ずれたりするおそれがあります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。
 - ▶ バッテリーは、内部で固定が可能なパッケージを使用して輸送してください。
 - ▶ パッケージが動かないよう固定してください。

4.10.3 充電器

▲ 警告

- 充電器は輸送中に倒れたり、ずれたりするおそれがあります。その結果、負傷したり、物的損害につながったりするおそれがあります。
 - ▶ 壁コンセントから電源プラグを抜きます。
 - ▶ バッテリーを取り外します。
 - ▶ 充電器は同梱されていたバッグに入れて輸送してください。
 - ▶ 充電器にバッグが同梱されていない場合：転倒したり、ずれたりしないよう、固定ストラップまたはネットで充電器を固定します。
- 充電器を運搬する目的に電源ケーブルを使用しないでください。電源ケーブルと充電器が損傷するおそれがあります。
 - ▶ 電源ケーブルを巻き上げ、充電器に固定します。

4.11 保管

4.11.1 刈払機

▲ 警告

- 子どもは刈払機の危険を認識/認知できず、重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ バッテリーを取り外します。



- ▶ 刈払機は子どもの手の届かないところに保管してください。
- 湿気によって刈払機の電気接点や金属製部品が腐食することがあります。それにより刈払機が損傷することがあります。



- ▶ バッテリーを取り外します。
- ▶ 刈払機は、清潔な乾いた状態で保管してください。

4.11.2 バッテリー

▲ 警告

- 子供は、バッテリーの危険の認識や評価ができません。子供は重傷を負う可能性があります。
 - ▶ バッテリーは子供の手の届かないところに保管してください。
- バッテリーは、すべての周囲条件に対して保護されているわけではありません。特定の周囲条件にさらされると、バッテリーが修理不能な損傷を受けるおそれがあります。
 - ▶ バッテリーは清潔な乾燥した状態で保管してください。
 - ▶ バッテリーは密閉空間に保管してください。
 - ▶ バッテリーは刈払機から分離して保管してください。
 - ▶ バッテリーを充電器に入れて保管する場合：電源プラグを引き抜いて、バッテリーを40%～60%（緑色で点灯しているLEDが2つある状態）の充電レベルで保管してください。
 - ▶ バッテリーは、規定の温度範囲を超える環境下で保管しないでください、**図 20.5**。

4.11.3 充電器

▲ 警告

- 子供は充電器の危険の認識や評価ができません。子供が重傷または致命傷を負う可能性があります。
 - ▶ 電源プラグを引き抜いてください。
 - ▶ 充電器は子供の手の届かないところに保管してください。
- 充電器はすべての環境要因に対して完全に保護されているわけではありません。特定の環境要因にさらされると、充電器は損傷する可能性があります。
 - ▶ 電源プラグを引き抜いてください。
 - ▶ 充電器が高温になっている場合：充電器を冷ましてください。
 - ▶ 充電器は清潔かつ乾燥した状態で保管してください。
 - ▶ 充電器は密閉空間に保管してください。
 - ▶ 充電器は、規定の温度範囲を超える環境下で保管しないでください（**図 20.5**）。
- 接続ケーブルは、充電器を持ち運んだり掛けたりするためのものではありません。接続ケーブルと充電器が損傷する可能性があります。
 - ▶ 充電器は筐体のところを掴んでしっかりと持ってください。
 - ▶ 充電器は壁掛けに掛けてください。

4.12 清掃、整備、修理

▲ 警告

- クリーニング、メンテナンス、または修理作業中にバッテリーを所定の位置に置いたままにすると、ブラシカッターが意図せずに起動する場合があります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。



- ▶ バッテリーを取り外してください。

- 刺激の強い洗浄剤、高圧洗浄機、または尖った物体は、刈払機、デフレクター、カッティングアタッチメント、バッテリー、充電器を損傷させるおそれがあります。刈払機、デフレクター、カッティングアタッチメント、バッテリー、充電器を適切に清掃しないと、部品が正常に作動しなくなるか、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。それにより重傷を負うことがあります。
 - ▶ 刈払機、デフレクター、カッティングアタッチメント、バッテリー、充電器は、本書に記載されているとおりに掃除してください。
- 刈払機、デフレクター、カッティングアタッチメント、バッテリー、充電器を適切に整備や修理を行わないと、部品が正常に作動しなくなるか、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。重傷または致命傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 刈払機、デフレクター、カッティングアタッチメント、バッテリー、充電器には、整備や修理を試みないでください。
 - ▶ 刈払機、デフレクター、カッティングアタッチメント、バッテリー、充電器に整備や修理が必要になったときは：STIHL サービス店にサポートを依頼してください。

5 刈払機の使用準備

5.1 刈払機の使用準備

毎回作業を開始する前に、以下の手順を踏む必要があります：

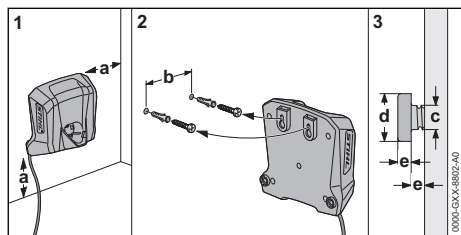
- ▶ 以下の部品が安全な状態にあることを確認してください：
 - 刈払機、**図 4.6.1**。
 - デフレクター、**図 4.6.2**。
 - 草刈ヘッド、**図 4.6.3**。
 - バッテリー、**図 4.6.4**。
 - 充電器、**図 4.6.5**。
- ▶ バッテリーを点検してください、**図 11.3**。
- ▶ バッテリーをフル充電してください、**図 6.2**。
- ▶ 刈払機を清掃してください、**図 16.1**。

- ▶ デフレクターを取り付けてください、**図 7.1**。
- ▶ スペーサーを取り付けてください、**図 7.2**。
- ▶ ブレードまたはナイロンコードを取り付けてください、**図 7.4.1** または **図 7.5.1**。
- ▶ ループハンドルを取り付けてください、**図 7.6**。
- ▶ シャフト長さを調整してください、**図 8.2**。
- ▶ ループハンドルを調整してください、**図 8.3**。
- ▶ 操作部をテストしてください (**図 11.1**)。
- ▶ この手順を踏むことができない場合: 刈払機の使用を中止して、STIHL サービス店にお問い合わせください。

6 バッテリーの充電、LED

6.1 充電器を壁に取り付ける

充電器は壁に取り付けることができます。



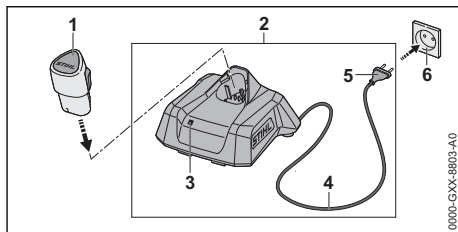
- ▶ 充電器は以下の条件が満たされるように壁に取り付けてください：
 - 適切な固定具を使用すること。
 - 充電器が水平になっていること。
- 以下の寸法が守られていること：
 - a = 少なくとも 100 mm
 - b = 54 mm
 - c = 4.5 mm
 - d = 9 mm
 - e = 2.5 mm

6.2 バッテリーの充電

充電時間は、バッテリーの温度や周囲温度などの様々な要因によって異なります。性能を最適に保つには、推奨温度範囲を守ってください：**図 20.6**。実際の充電時間は、記載されている充電時間とは異なる場合があります。充電時間は www.stihl.com/charging-times に記載されています。

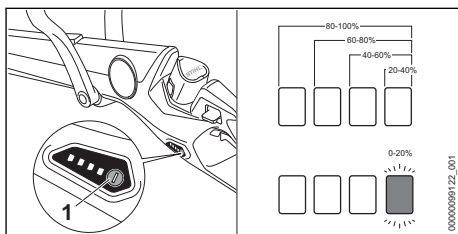
電源プラグをコンセントに差し込み、バッテリーを充電器にセットすると、自動的に充電が開始されます。バッテリーがフル充電されると、充電器の電源は自動的にオフになります。

充電中は、バッテリーと充電器が熱くなります。



- ▶ 電源プラグ (5) を簡単にアクセス可能なコンセント (6) に差し込んでください。充電器 (2) がセルフテストを実行します。LED (3) が約 1 秒緑色で、約 1 秒赤色で点灯します。
- ▶ 接続ケーブル (4) を敷設します。
- ▶ バッテリー (1) を充電器 (2) のガイドにセットし、奥まで押し込みます。LED (3) が緑色で点灯または点滅します。バッテリー (1) が充電されます。
- ▶ LED (3) が点灯しなくなった場合：バッテリー (1) はフル充電されており、充電器 (2) から取り外すことができます。
- ▶ 充電器 (2) を使用しない場合：電源プラグ (5) をコンセント (6) から引き抜いてください。

6.3 充電状態の表示



- ▶ バッテリーを取り付けます。
- ▶ プッシュボタン (1) を押します。LED が約 5 秒間緑色で点灯し、充電状態が表示されます。
- ▶ 右側の LED が緑色に点滅した場合：バッテリーを充電してください。

6.4 刈払機の LED

LED はバッテリーの充電状態または障害を表示します。LED は緑色または赤色で点灯または点滅します。

LED が緑色で点灯または点滅する場合、充電状態を表示します。

- ▶ LED が赤色で点灯または点滅する場合：トラブルシューティング (**図 19.1**)。

刈払機またはバッテリーに障害があります。

6.5 充電器の LED

LED は、充電器の作動状態や不具合を表示します。LED は、緑色または赤色で点灯するか、点滅します。

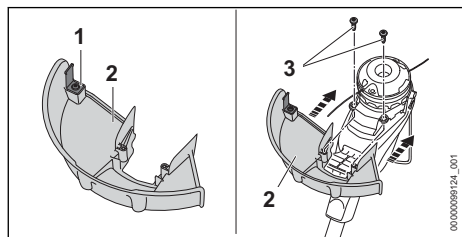
LED が緑色で点灯しているときは、バッテリーは充電中です。

- ▶ LED が赤色で点灯または点滅している場合：トラブルシューティング 19.1。
充電器またはバッテリーに異常が生じています。

7 刈払機の組み立て

7.1 デフレクターの取り付け

- ▶ 刈払機のスイッチをオフにして、バッテリーを取り外してください。



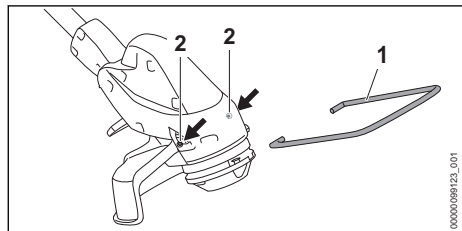
ライン制限ブレード (1) はデフレクター (2) に取り付け済みであり、取り外してはなりません。

- ▶ デフレクター (2) をハウジングガイドのリミットストップまで押し込みます。
デフレクター (2) がハウジングと一直線に並びます。
- ▶ スクリュー (3) をねじ込んで、しっかりと締め付けます。

デフレクター (2) を再び取り外してはなりません。

7.2 スパースの取り付け

- ▶ 刈払機のスイッチをオフにして、バッテリーを取り外してください。



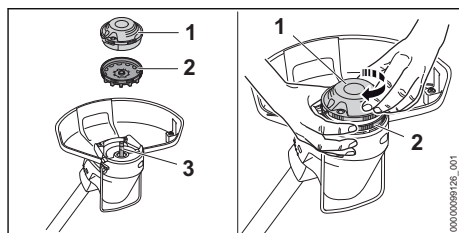
- ▶ スパース (1) をハウジングの穴 (2) に入れます。

スパース (1) は再度取り外す必要はありません。

7.3 草刈ヘッドの取り付けと取り外し

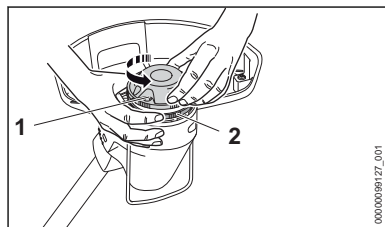
7.3.1 カッターヘッドの取り付け

- ▶ 刈払機のスイッチをオフにして、バッテリーを取り外してください。



- ▶ ファンホイール (2) の羽根が下を向くように、ファインホイール (2) をシャフト (3) に押し込みます。
ファンホイールが取り付けられていないと、電動モーターが十分に冷却されず、作業中に刈払機のスイッチが切れてしまいます。
- ▶ ファンホイール (2) を手で保持します。
- ▶ カッターヘッド (1) を軸 (3) 上に置いて手で時計回りに回して、手でしっかりと締め付けます。

7.3.2 カッターヘッドの取り外し

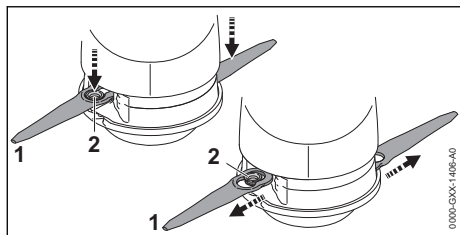


- ▶ 刈払機のスイッチをオフにして、バッテリーを取り外してください。
- ▶ ファンホイール (2) を手で保持します。
- ▶ カッターヘッド (1) を反時計方向に回して取り外します。
- ▶ ファンホイールを取り外します。

7.4 ブレードの取り付けと取り外し

7.4.1 ブレードの取り付け

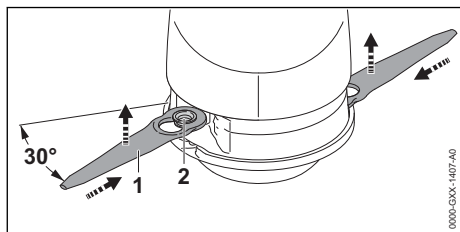
- ▶ 刈払機のスイッチをオフにして、バッテリーを取り外してください。
- ▶ 12 時間から 24 時間の間、ブレードを水の入った容器の中に浸けておいてください。
これによってブレードの弾性が高くなります。



- ▶ スリーブ (2) がブレード (1) の大きい穴に固定されるように、ブレード (1) をカッターヘッドにのせます。
- ▶ スリーブ (2) がブレード (1) の小さい穴にカチッと合はまるまで、ブレード (1) を外側へ引きます。

7.4.2 ブレードの取り付け

- ▶ 刈払機のスイッチをオフにして、バッテリーを取り外してください。

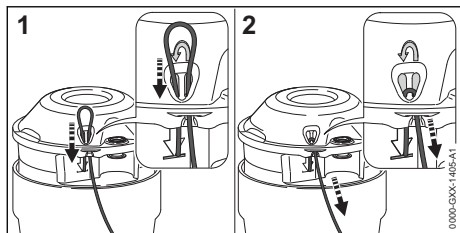


- ▶ スリーブ (2) がブレード (1) の小さい穴から飛び出るまで、ブレード (1) をカッターヘッドの溝へ押し入れます。
- ▶ ブレード (1) を上から取り出します。

7.5 ナylonコードの取り付けと取り外し

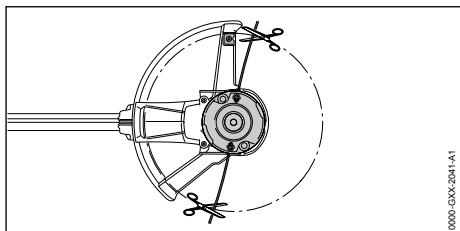
7.5.1 ナylonコードの取り付け

- ▶ 刈払機のスイッチをオフにして、バッテリーを取り外してください。
- ▶ 12 時間から 24 時間の間、ナylonコードを水の入った容器の中に浸けておいてください。これによってナylonコードの弾性が高くなります。



- ▶ ナylonコードを右側の開口部の下から挿入します。

- ▶ ナylonコードの端が記号と並ぶまで、ナylonコードを左側の開口部の上から挿入します。
- ▶ ナylonコードの短い方の末端を保持します。
- ▶ ナylonコードがラインスプールにしっかり固定されるまで、ナylonコードの長い方の末端を引っ張ります。



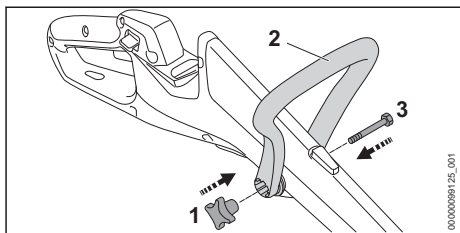
- ▶ ライン制限ブレードまで届く長さでナylonコードを切断します。

7.5.2 ナylonコードの取り外し

- ▶ 刈払機のスイッチをオフにして、バッテリーを取り外してください。
- ▶ ナylonコードの短い方の末端を上方向にラインスプールに押し入れます。
- ▶ ナylonコードの短い方の末端を上方向へラインスプールから引き出します。
- ▶ ナylonコードをラインスプールから引き出します。

7.6 ループハンドルの取り付け

- ▶ 刈払機のスイッチをオフにして、バッテリーを取り外してください。



- ▶ スターボナット (1) のホルダーがコントロールハンドルの右側にくるように、ループハンドル (2) の位置を調整してください。
- ▶ ループハンドル (2) の脚を両側へ広げて、ループハンドル (2) がカチッと合はまるまでループハンドル (2) をコントロールハンドル上に置きます。
- ▶ スクリュー (3) を穴に入れます。
- ▶ スターボナット (1) を取り付け、締め付けます。

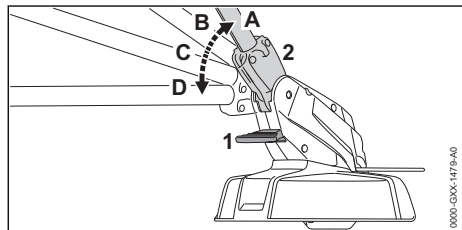
ループハンドル (2) は再度取り外す必要はありません。

8 刈払機の調整

8.1 シャフト角度の調整

シャフトは、ユーザーの身長の高さに合わせて様々な角度に調整することができます。

- ▶ 刈払機のスイッチをオフにして、バッテリーを取り外してください。

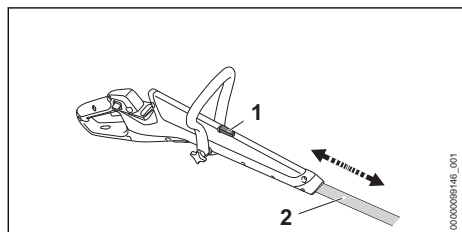


- ▶ ロック解除 (1) を押し、そのまま保持します。
- ▶ シャフト (2) を任意のポジション (A~D) に傾けて、カチッと合めします。
- ▶ ロック解除 (1) を放します。

8.2 シャフトの長さ調整

シャフトは、ユーザーの身長の高さに合わせて様々な長さに調整することができます。

- ▶ 刈払機のスイッチをオフにして、バッテリーを取り外してください。
- ▶ コントロールハンドルをしっかりと保持してください。

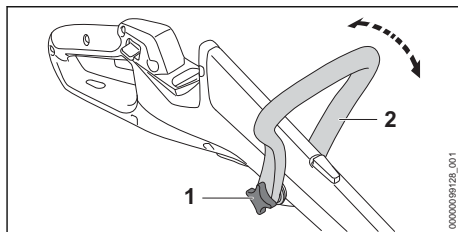


- ▶ トリガースイッチロックアウト (1) を押し、そのまま保持します。
- ▶ シャフト (2) を任意のポジションまで引っ張ったり押し込みます。
- ▶ トリガースイッチロックアウト (1) を離します。
- ▶ シャフト (2) をやめずらして、カチッと合めします。

8.3 ループハンドルの調整

ループハンドルは、ユーザーの身長の高さに合わせて様々な位置に調整することができます。

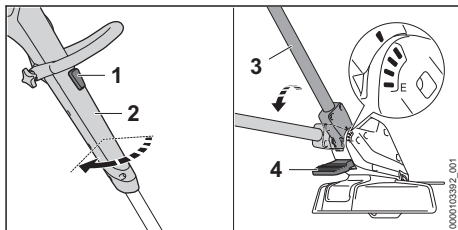
- ▶ 刈払機のスイッチをオフにして、バッテリーを取り外してください。



- ▶ スターノット (1) を緩めます。
- ▶ ループハンドル (2) を任意のポジションへ傾けます。
- ▶ スターノット (1) をしっかりと締め付けます。

8.4 刈払機のエッジャーへの変換

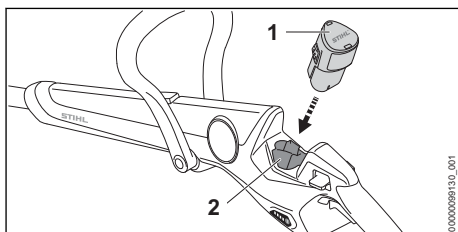
- ▶ 刈払機のスイッチをオフにして、バッテリーを取り外してください。



- ▶ トリガースイッチロックアウト (1) を押し、そのまま保持します。
- ▶ かみ合うまでコントロールハンドル (2) を 90° 回転させます。
- ▶ トリガースイッチロックアウト (1) を放します。
- ▶ ロック解除 (4) を押し、そのまま保持します。
- ▶ シャフト (3) を最も下げたポジション E に傾けて、かみ合わせます。
- ▶ ロック解除 (4) を放します。

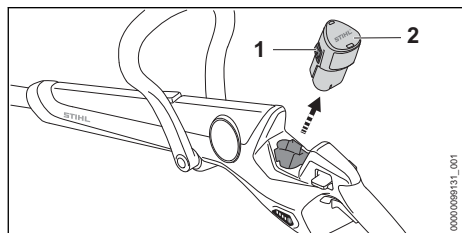
9 バッテリーの取り外しと取り付け

9.1 バッテリーの取り付け



- ▶ バッテリー (1) をバッテリーコンパートメント (2) に止まるまで押し込みます。
バッテリー (1) が定位置にはまると、カチッという音がします。

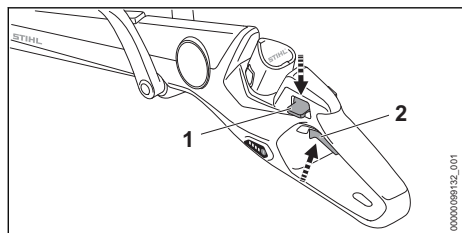
9.2 バッテリーの取り外し



- ▶ 両方のロッキングフック (1) を押します。
バッテリー (2) のロックが解除され、取り外しが可能になります。

10 刈払機のオン/オフ切り替え

10.1 刈払機のスイッチを入れる



- ▶ 刈払機のコントロールハンドルを片方の手で握り、親指をコントロールハンドルにかけてください。
- ▶ 刈払機のループハンドルをもう一方の手で握り、ループハンドルに親指をかけてください。
- ▶ ロッキングレバー (1) を親指で押し、そのまま保持します。
- ▶ トリガー (2) を人差し指で押し、そのまま保持します。
刈払機が加速し、カッティングツールが回転します。ロッキングレバー (1) は離しても構いません。

10.2 刈払機のスイッチを切る

- ▶ トリガーを放します。
- ▶ カッティングツールが回転しなくなるまで待ってください。
- ▶ カッティングツールが引き続き回転する場合：バッテリーを取り外して、STIHL サービス店にお問い合わせください。
刈払機が故障しています。

11 刈払機とバッテリーのテスト

11.1 操作部のテスト

ロッキングレバーおよびトリガー

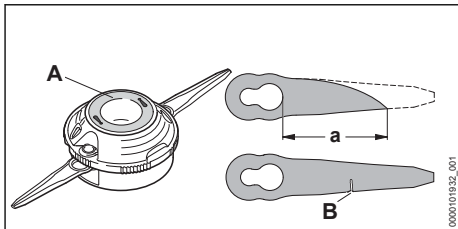
- ▶ バッテリーを取り外します。
- ▶ ロッキングレバーを押さずにトリガーを押せるかどうかを試してください。
- ▶ トリガーが押せてしまう場合：刈払機の使用を中止して、STIHL サービス店までご来店ください。
ロッキングレバーが故障しています。
- ▶ ロッキングレバーを押し、そのまま保持します。
- ▶ トリガーを押して、再び離します。
- ▶ トリガーが動きにくくなっているか、元の位置に戻らない場合：刈払機の使用を中止して、STIHL サービス店までご来店ください。
トリガーが故障しています。

刈払機のスイッチを入れる

- ▶ バッテリーを取り付けます。
- ▶ ロッキングレバーを押し、そのまま保持します。
- ▶ トリガーを押し、そのまま保持します。
カッティングツールが回転します。
- ▶ 3つのLEDが赤色で点滅する場合：バッテリーを取り外して、STIHL サービス店にお問い合わせください。
刈払機内部に障害があります。
- ▶ トリガーを放します。
短い時間でカッティングツールが回転しなくなります。
- ▶ カッティングツールが引き続き回転する場合：バッテリーを取り外して、STIHL サービス店にお問い合わせください。
刈払機が故障しています。

11.2 カッティングツールの点検

- ▶ 刈払機のスイッチをオフにして、バッテリーを取り外してください。



- ▶ 摩耗マーク (A) がラインスプール PolyCut 3-2 の下から見える場合：刈払機の使用を中止し、ラインスプール PolyCut 3-2 を交換してください。

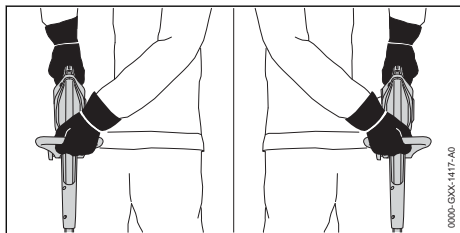
- ▶ ブレードの大きな穴とブレードの先端の間隔が $a = 45 \text{ mm}$ 以下の場合：両方のブレードを交換してください。
- ▶ ブレードが損傷 (B) している場合：両方のブレードを交換してください。

11.3 バッテリーの点検

- ▶ バッテリーを取り付けます。
- ▶ 刈払機のプッシュボタンを押します。
LED が点灯または点滅します。
- ▶ LED が点灯または点滅しない場合：刈払機とバッテリーの使用を中止して、STIHL サービス店にお問い合わせください。
刈払機またはバッテリーに障害があります。

12 刈払機の操作

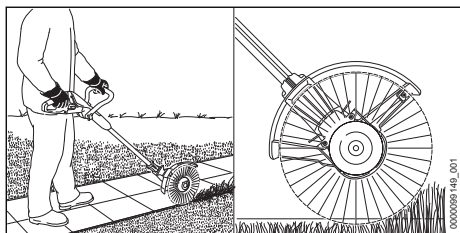
12.1 刈払機の保持と操作



- ▶ 片方の手でコントロールハンドルを握ります - コントロールハンドルに親指をかけてください。
- ▶ もう一方の手でループハンドルを握ります - ループハンドルに親指をかけてください。

12.2 エッジのトリミング

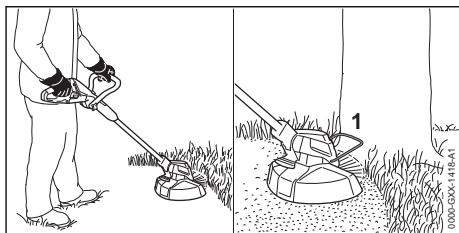
- ▶ 刈払機をエッジャーに組み立てなおします。



- ▶ 芝生のエッジに沿って刈払機を案内してください。
- ▶ 地面から均等の間隔を維持したい場合：パンプガードを完全に開きます。

12.3 刈払い

刈払い高さは、地面からカッティングツールまでの距離によって決まります。



- ▶ 刈払機を左右均等に動かします。
- ▶ 制御しながらゆっくりと前進します。
- ▶ パンプガード (1) を使用する場合：パンプガード (1) を完全に広げます。

性能を最適に保つには、推奨温度範囲を守ってください： 20.6。

12.4 ラインスプール AutoCut のナイロンコードの再調整

- ▶ 回転中のラインスプールを地面に軽く叩きつけます。
これによっておよそ 30 mm 再調整されます。
デフレクター内のライン制限ブレードが、ナイロンコードを自動的に正しい長さに切断します。

ナイロンコードの長さが 25 mm 以下になると、自動的に再調整できなくなります。

- ▶ 刈払機のスイッチをオフにして、バッテリーを取り外してください。
- ▶ ラインスプールのボタンを押し、そのまま保持します。
- ▶ ナイロンコードを手で引き出します。
- ▶ ナイロンコードを引き出せなくなった場合：ナイロンコードのコイルヘッドを交換してください。
スプールが空になっています。

13 作業後

13.1 作業後

- ▶ 刈払機のスイッチをオフにして、バッテリーを取り外してください。
- ▶ 刈払機が濡れている場合：刈払機を乾かしてください。
- ▶ バッテリーが濡れているか湿っている場合：バッテリーを乾かしてください、20.6。
- ▶ 刈払機を清掃してください。
- ▶ デフレクターを清掃してください。
- ▶ カッティングツールを清掃してください。
- ▶ バッテリーを清掃してください。

14 運搬

14.1 刈払機の運搬

- ▶ 刈払機の電源を切り、バッテリーを取り外します。

刈払機の運搬

- ▶ 刈払機はシャフトで適切にバランスを取り、カッティングアタッチメントを後ろに向け、片手で運搬してください。

刈払機の車両輸送

- ▶ 倒れたり、ずれたりしないよう刈払機を固定してください。

14.2 バッテリーの運搬

- ▶ 刈払機の電源を切り、バッテリーを取り外します。
- ▶ バッテリーが安全な状態にあるか確認します。
- ▶ バッテリーはパッケージの内部で動かないように梱包してください。
- ▶ パッケージが動かないよう固定してください。

バッテリーには危険物輸送規則が適用されます。本バッテリーは UN 3480 (リチウムイオンバッテリー) として分類されており、国連試験基準マニュアル、パート III、サブセクション 38.3 に従って試験済みです。

輸送時の規制については、右記を参照してください：www.stihl.com/safety-data-sheets。

14.3 充電器の運搬

- ▶ 壁コンセントから電源プラグを抜きます。
- ▶ バッテリーを取り外します。
- ▶ 電源ケーブルを巻き上げ、充電器に固定します。
- ▶ 充電器の車両輸送：
 - ▶ 充電器は同梱されていたバッグに入れて輸送してください。
 - ▶ 倒れたり、ずれたりしないようバッグを固定します。
 - ▶ 充電器にバッグが同梱されていない場合：倒れたり、ずれたりしないよう充電器を固定してください。

15 保管

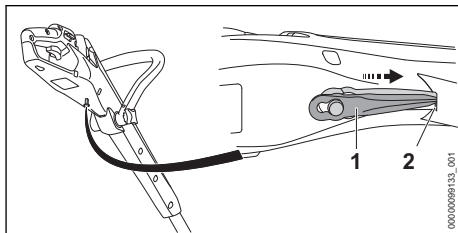
15.1 刈払機の保管

- ▶ 刈払機のスイッチをオフにして、バッテリーを取り外してください。
- ▶ 刈払機は以下の条件が満たされるように保管してください：
 - 刈払機が倒れたり動いたりしないようにすること。
 - 刈払機が子供の手の届かないところにあること。
 - 刈払機が清潔かつ乾燥した状態にあること。

- ▶ 刈払機を 30 日以上保管する場合：カッティングツールを取り外してください。

15.2 ブレードの保管

ブレードは最大 6 個まで刈払機で直接保管することができます。



- ▶ ブレード (1) を刈払機の下側にひっかけます。
- ▶ ブレードの先端 (1) を刈払機の開口部 (2) に押し込みます。
- ▶ 次のブレードをその上にひっかけます。

15.3 バッテリーの保管

STIHL では、バッテリーを 40 % ~ 60 % (緑色で点灯している LED が 2 つある状態) の充電レベルで保管することをお勧めしています。

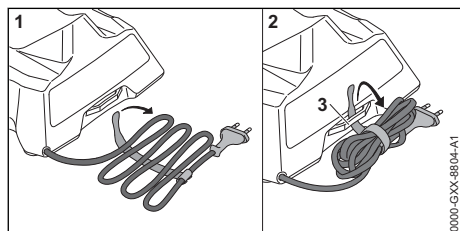
- ▶ バッテリーは以下の条件が満たされるように保管してください：
 - バッテリーが子供の手の届かないところにあること。
 - バッテリーが清潔かつ乾燥した状態にあること。
 - バッテリーが密閉空間にあること。
 - バッテリーが刈払機から分離されていること。
 - バッテリーを充電器に入れて保管する場合：電源プラグを引き抜いて、バッテリーを 40 % ~ 60 % (緑色で点灯している LED が 2 つある状態) の充電レベルで保管してください。
 - バッテリーは、規定の温度範囲を超える環境下で保管していない、 20.5。

注記

- バッテリーをこの取扱説明書の記載通りに保管しないと、バッテリーが過放電して損傷し、修復不可能になる可能性があります。
 - ▶ 放電したバッテリーは、保管する前に充電してください。STIHL では、バッテリーを 40 % ~ 60 % (緑色で点灯している LED が 2 つある状態) の充電レベルで保管することをお勧めしています。
 - ▶ バッテリーは刈払機から分離して保管してください。

15.4 充電器の保管

- ▶ 電源から電源プラグを抜きます。



- ▶ 電源ケーブルを巻き上げ、充電器に固定します。
- ▶ 充電器を保管するときは、以下の点を遵守してください：
 - 充電器を子供の手の届かない場所に保管する。
 - 充電器を清潔で乾いた状態に保つ。
 - 充電器を密閉された場所に保管する。
 - 充電器を電源ケーブルや電源ケーブルのホルダー (3) で吊り下げない。
 - 充電器を規定の温度範囲を超える環境下で保管しない、□ 20.5。

16 清掃

16.1 刈払機の清掃

- ▶ 刈払機のスイッチをオフにして、バッテリーを取り外してください。
- ▶ 刈払機を湿らせた布で清掃します。
- ▶ バッテリーコンパートメントから異物を取り除いて、バッテリーコンパートメントを湿らせた布で清掃してください。
- ▶ バッテリーコンパートメントの電気接点をハケまたは柔らかいブラシで清掃してください。
- ▶ ファンホイールの下側の部分を刷毛またはやわらかいブラシで清掃します。

16.2 デフレクターとカッティングアタッチメントの清掃

- ▶ 刈払機のスイッチをオフにして、バッテリーを外します。

- ▶ デフレクターとカッティングアタッチメントは、湿らせた布または柔らかいブラシで清掃します。

16.3 バッテリーの清掃

- ▶ バッテリーを、湿らせた布で拭きます。

16.4 充電器の清掃

- ▶ 電源から電源プラグを抜きます。
- ▶ 充電器を湿らせた布で拭き、清掃します。
- ▶ 充電器の電気接点を塗装用のはけまたは柔らかいブラシで掃除します。

17 整備

17.1 整備間隔

整備間隔は、環境と運転条件によって異なります。STIHL 社では次の間隔による整備をお勧めしています：

12 ヶ月毎

- ▶ STIHL サービス店に刈払機の点検をご依頼ください。

18 修理

18.1 刈払機、バッテリー、充電器の修理

ユーザーが刈払機、カッティングアタッチメント、バッテリー、充電器を修理することはできません。

- ▶ 刈払機またはカッティングアタッチメントが損傷した場合：刈払機またはカッティングアタッチメントを使用しないでください。STIHL サービス店に連絡してください。
- ▶ バッテリーが故障するか、損傷した場合：バッテリーを交換してください。
- ▶ 充電器が故障するか、損傷した場合：充電器を交換してください。
- ▶ 電源ケーブルに不具合や損傷が生じた場合：充電器を使用しないでください。STIHL サービス店で電源ケーブルを交換してもらってください。

19 トラブルシューティング

19.1 刈払機またはバッテリーのトラブルシューティング

障害	刈払機の LED	原因	対策
スイッチをオンにした際に刈払機が起動しない。	1 つの LED が緑色に点滅する。	刈払機の充電レベルが低すぎます。	▶ バッテリーを充電してください。
	1 つの LED が赤色に点灯する。	バッテリーの温度が高すぎるか低すぎます。	▶ バッテリーを取り外します。 ▶ バッテリーを冷ますか温めてください。

障害	刈払機の LED	原因	対策
	3 つの LED が赤色に点滅する。	刈払機の温度が高すぎます。	▶ バッテリーを取り外します。 ▶ 刈払機を冷ましてください。
	4 つの LED が赤色で点滅する。	バッテリー内部に障害があります。	▶ バッテリーを取り外します。 ▶ バッテリーコンパートメントの電気接点を清掃してください。 ▶ バッテリーを取り付けます。 ▶ 刈払機のスイッチをオンにしてください。 ▶ 引き続き 4 つの LED が赤色で点滅する場合：バッテリーの使用を中止して、STIHL サービス店にお問い合わせください。
		刈払機とバッテリー間の電気接続が遮断されています。	▶ バッテリーを取り外します。 ▶ バッテリーコンパートメントの電気接点を清掃してください。 ▶ バッテリーを取り付けます。
		刈払機またはバッテリーが濡れています。	▶ 刈払機またはバッテリーを乾かしてください、☑ 20.6。
		カッティングツールが引っかかっています。	▶ バッテリーを取り外します。 ▶ 刈払機を清掃してください、☑ 16.1。
刈払機が動作中に停止する。	3 つの LED が赤色に点灯する。	刈払機の温度が高すぎます。	▶ バッテリーを取り外します。 ▶ 刈払機を冷ましてください。
		電気的な障害があります。	▶ バッテリーを取り外して、再度取り付けてください。 ▶ 刈払機のスイッチをオンにしてください。
刈払機の動作時間が短すぎる。		バッテリーがフル充電されていません。	▶ バッテリーをフル充電してください。
		バッテリーの耐用年数を超過しています。	▶ バッテリーの交換
草刈ヘッドを手で取り外すことができない。		草刈ヘッドの締め付けが強すぎます。	▶ ファンホイールをストップピンでブロックします。 ▶ 草刈ヘッドを手で緩めます。 ▶ ストップピンを引き抜きます。

19.2 充電器のトラブルシューティング

不具合	充電器の LED	原因	処置
バッテリーが充電されない。	1 個の LED が赤色で点灯。	バッテリーの温度が高過ぎるか、低過ぎます。	▶ バッテリーを充電器に差し込んでおきます。 許容温度範囲に達すると、すぐに充電が自動的に開始されます。
	LED が赤色で点滅。	充電器とバッテリー間に電気的な接触がない。	▶ バッテリーを取り外します。 ▶ 充電器の電気接点を掃除します。 ▶ バッテリーを挿入します。
		充電器に異常が生じている。	▶ 充電器を使用しないでください。STIHL サービス店にサポートを依頼してください。
充電器が自己テストを実行しない。	LED が約 1 秒間緑色で点灯した後、約 1 秒間赤色で点灯。	バッテリーが故障している。	▶ バッテリーを使用しないでください。STIHL サービス店にお問い合わせください。
		充電器との電気的な接触がしばらく中断された。	▶ 電源から電源プラグを抜きます。 ▶ 1 分間待ちます。 ▶ 電源プラグを壁コンセントに挿入します。

20 技術仕様

20.1 刈払機 STIHL

- － 使用できるバッテリー：STIHL AS
- － バッテリーなし、カッティングツールあり、デフレクターありの重量：2,1 kg
- － 長さ、カッティングツールなし：1160 mm ~ 1340 mm

耐用年数は www.stihl.com/battery-life に記載されています。

20.2 STIHL AS バッテリー

- － バッテリー技術：リチウムイオン
- － 電圧：10.8 V
- － 容量(Ah)：定格ラベルを参照
- － エネルギー含有量(Wh)：定格ラベルを参照
- － 重量(kg)：定格ラベルを参照

20.3 STIHL AL 1 充電器

- － 定格電圧：銘板を参照
- － 周波数：銘板を参照
- － 定格電力：銘板を参照
- － 充電電流：銘板を参照
- － STIHL AS バッテリーの最大エネルギー含有量：12.5 Ah

充電所要時間については、右記を参照してください - www.stihl.com/charging-times

20.4 延長ケーブル

延長ケーブルを使用するときは、ケーブル (導体) の断面積が以下の最低要件 - 延長ケーブルの線間電圧と長さによって異なる - を満たす必要があります：

定格ラベルに記載されている定格電圧が 220V から 240V までの場合：

- － 20 m までのケーブル長：AWG 15 / 1.5 mm²
- － 20 m から 50 m までのケーブル長：AWG 13 / 2.5 mm²

定格ラベルに記載されている定格電圧が 100V から 127V までの場合：

- － 10 m までのケーブル長：AWG 14 / 2.0 mm²
- － 10 m から 30 m までのケーブル長：AWG 12 / 3.5 mm²

20.5 温度制限



警告

- バッテリーは、すべての周囲条件に対して保護されているわけではありません。バッテリーが特定の環境要因にさらされると、バッテリーが発火・爆発するおそれがあります。人員が重傷を負い、物的損害に至る可能性があります。
 - ▶ バッテリーを -20 °C 未満または +50 °C を超過した状態で充電しないでください。
 - ▶ 刈払機、バッテリーまたは充電器を -20 °C 未満または +50 °C 超過の環境下で使用しないでください。
 - ▶ 刈払機、バッテリーまたは充電器を -20 °C 未満または +70 °C 超過の環境下で保管しないでください。

20.6 推奨温度範囲

刈払機、バッテリーおよび充電器の性能を最適に保つために、以下の温度範囲を守ってください：

- － 充電：+5 °C ~ +40 °C
- － 使用：-10 °C ~ +40 °C
- － 保管：-20 °C ~ +50 °C

バッテリーを推奨温度範囲外で充電したり、使用したり、保管したりすると、性能が低下することがあります。

バッテリーが濡れていたり、湿ったりしている場合は、+15 °C ~ +50 °C、並びに湿度 70 % 未満で 48 時間以上乾燥させてください。湿度が高ければ乾燥時間が長くなることがあります。

20.7 騒音値および振動値

音圧レベルの特性値は 2 dB(A) です。音響パワーレベルの特性値は 2 dB(A) です。振動値の特性値は 2 m/s² です。

STIHL では、聴力保護具を着用することをお勧めしています。

- － IEC 62841-4-4 に準拠して測定した音圧レベル L_{pA} ：76 dB(A)
- － IEC 62841-4-4 に準拠して測定した音響パワーレベル L_{WA} ：89 dB(A)
- － IEC 62841-4-4 に準拠して測定した振動値 a_{hv} ：
 - － コントロールハンドル：4,8 m/s²
 - － ループハンドル：3,6 m/s²

記載されている振動値は、規格に基づいた検査方法に従って測定されたものであり、電気製品を比較する際に参考にすることができます。実際に発生する振動値は、使用方法によっては記載値とは異なる可能性があります。記載されている振動値は、振動による負荷を差し当たって判断するために使用することができます。振動による負

荷の実際の強さは、推定する必要があります。推定時には、電気製品がオフになっている時間と、オンになってはいても負荷なしで稼働している時間も考慮に入れることがあります。

振動に関する指令 2002/44/EC の遵守に関する情報は、www.stihl.com/vib に記載されています。

20.8 REACH

REACH は EC の規定で、化学物質 (Chemical substances) の登録 (Registration)、評価 (Evaluation)、認可 (Authorisation) 規制を意味します。

REACH 規定の遵守に関する詳細については、www.stihl.com/reach をご覧ください。

21 カuttingアタッチメントとデフレクターの組み合わせ

21.1 刈払機 STIHL FSA 30.0

以下の草刈ヘッドは、デフレクターと共に装着できます：

- カッターヘッド PolyCut 3-2
 - ブレード (Ø 230 mm)
 - カuttingライン「丸形静音」、1.6 mm 径 (Ø 250 mm)
- ラインスプール AutoCut C 3-2 (Ø 250 mm)
 - カuttingライン「丸形静音」、1.6 mm 径

ラインスプールをナイロンコードとともに使用する場合、バッテリー駆動時間は短くなります。

22 スペアパーツおよびアクセサリ

22.1 スペアパーツおよびアクセサリ

STIHL  これらの記号は、STIHL 純正のスペアパーツと STIHL 純正のアクセサリに付けられています。

STIHL 社では、STIHL 純正の交換部品とアクセサリの使用をお勧めしています。

STIHL 社は市場に出回っている商品を継続的に調査しておりますが、他社製スペアパーツとアクセサリの信頼性、安全性、適性を判断することはできません。そのため、STIHL 社はそうした部品の使用を許可しておりません。

STIHL 純正の交換部品と STIHL 純正のアクセサリは、STIHL サービス店から入手することができます。

23 廃棄

23.1 刈払機、バッテリー、充電器の廃棄

廃棄に関する情報については、最寄りの行政機関または STIHL サービス店へお問い合わせください。

不適切な廃棄は、健康被害や環境汚染の原因になるおそれがあります。

- ▶ 現地の規制に従い、パッケージを含む STIHL 製品を適切な回収場所へ持ち込み、リサイクルしてください。
- ▶ 家庭ごみと共に廃棄しないでください。

24 EC 適合証明書

24.1 刈払機 STIHL FSA 30.0

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

Badstraße 115

D-71336 Waiblingen

Germany (ドイツ)

は、単独の責任において下記の製品が

- モデル / 機械カテゴリー：バッテリー刈払機/エッジャー
- 製造ブランド：STIHL
- タイプ：STIHL FSA 30.0
- シリアル番号：FA10

指令 2011/65/EU、2006/42/EC、2014/30/EU、2000/14/EC の関連する条項に適合しており、以下の規格のそれぞれ製造時点で有効であった版に準拠して開発および製造されたことを保証いたします：EN 55014-1、EN 55014-2、EN 62841-1、ISO 12100 (IEC 62841-4-4、EN 60335-1、EN 50636-2-91 を考慮)。

音響パワーレベルの測定値および保証値は、指令 2000/14/EC の付属書 VI に準拠して測定されたものです。

試験実施指定機関：VDE Prüf- u. Zertifizierungsinstitut, Merianstraße 28, 63069 Offenbach, Germany

– 音響パワーレベル測定値：89 dB(A)

– 音響パワーレベル保証値：91 dB(A)

技術資料は ANDREAS STIHL AG & Co. KG の製品認証部に保管されています。

製造年、製造国と機械番号は、刈払機に表示されています。

2023 年 07 月 01 日、Waiblingen にて発行

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人 

Robert Olma, Vice President, Regulatory Affairs
& Global Governmental Relations

25 UKCA 適合宣言

25.1 刈払機 STIHL FSA 30.0

**UK
CA**

ANDREAS STIHL AG & Co. KG
Badstraße 115
D-71336 Waiblingen
Germany (ドイツ)

は、単独の責任において下記の製品が

- モデル / 機械カテゴリー: バッテリー刈払機/エ
ッジャー
- 製造ブランド: STIHL
- タイプ: STIHL FSA 30.0
- シリアル番号: FA10

英国規則 The Restriction of the Use of Certain Hazardous Substances in Electrical and Electronic Equipment Regulations 2012, Supply of Machinery (Safety) Regulations 2008, Electromagnetic Compatibility Regulations 2016 および Noise Emission in the Environment by Equipment for use Outdoors Regulations 2001 の関連する条項に適合しており、以下の規格のそれぞれ製造時点で有効であった版に準拠して開発および製造されたことを保証いたします: EN 55014-1、EN 55014-2、EN 62841-1、ISO 12100 (IEC 62841-4-4、EN 60335-1、EN 50636-2-91 を考慮)。

英国規則 Noise Emission in the Environment by Equipment for use Outdoors Regulations 2001, Schedule 9 に準拠して適用された適合性評価方法。

試験実施指定機関: AnP Certification Limited,
2 Parkfield Street, Rusholme, Manchester M 14 4PN

- 音響パワーレベル測定値: 89 dB(A)
- 音響パワーレベル保証値: 91 dB(A)

技術資料は ANDREAS STIHL AG & Co. KG に保管されています。

製造年、製造国と機械番号は、刈払機に表示されています。

2023 年 07 月 01 日、Waiblingen にて発行

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

0458-039-4301-A

代理人 

Robert Olma, Vice President, Regulatory Affairs
& Global Governmental Relations

26 アドレス

www.stihl.com

27 パワーツールの安全上の一般的警告事項

27.1 はじめに

この章は、手持型モーター駆動電動工具の欧州標準 IEC 62841 に規定されている、策定済みの一般的な安全上の注意事項を複製したものです。

STIHL 社にはこうした注意事項を発行する義務があります。

「電気的な安全」に記載されている、感電を防ぐための安全上の注意事項と警告は、STIHL バッテリーツールには適用されません。



警告

- この電動パワーツールに付属する安全上の注意事項、取扱説明書、図、技術仕様にはすべて目を通してください。安全に関する警告事項や指示に従わないと、感電、火災、重傷の原因になることがあります。後日参照するために、警告と指示が記載された書類をすべて保管してください。

警告中の「電動パワーツール」という語は、主電源により駆動される (コード接続) パワーツールまたはバッテリーにより駆動される (コードレス) パワーツールを指します。

27.2 作業エリアの安全

- a) 作業エリアは清潔な状態で維持し、常に十分な明るさを確保してください。雑然としているか、明るさが十分でない作業エリアは、事故を招きます。
- b) 可燃性の液体、ガス、または粉塵が存在する、爆発が起きやすい環境下では、電動パワーツールを使用しないでください。電動パワーツールは火花を発生し、粉塵やガスが引火することがあります。
- c) 電動パワーツールの使用時は、子供や第三者を近付けないでください。気が散って、電動パワーツールを制御できなくなることがあります。

27.3 電気的な安全

- a) 電動パワーツールの電源プラグは、コンセントと適合している必要があります。電源プラグにはいかなる改造も行わないでください。接地された電動パワーツールにはアダプタープラグを使用しないでください。改造されていないプラグを適合するコンセントに使用すると、感電の危険が低減されます。
- b) パイプ、ヒーター、オープン、冷蔵庫等の接地された面に身体の一部を接触させないでください。身体が接地されると、感電が生じる危険が増します。
- c) 電動パワーツールは、雨や水分にさらさないでください。電動パワーツールに水が入ると、感電の危険が増します。
- d) 接続ケーブルを他の目的に使用しないでください。絶対に電源ケーブルを持って電動パワーツールを運搬したり、引っ張ったりしないでください。同様に、絶対に電源ケーブルを引いてプラグを外さないでください。電源ケーブルは高温、油分、鋭利な端部、可動部に近付けないでください。電源ケーブルが損傷するか、絡まると、感電の危険が増します。
- e) 電動パワーツールを屋外で使用するときは、屋外用の延長ケーブルを使用してください。屋外用の延長ケーブルを使用すると、感電の危険が低くなります。
- f) やむを得ず電動パワーツールを湿った場所で使用しなければならない場合は、残留電流装置 (RCD) で保護された電源を使用してください。RCD を使用すると、感電の危険が低くなります。

27.4 作業者の安全

- a) 電動パワーツールを操作するときは、常に気を抜かず、作業に集中し、常識を働かせてください。疲れているときや、薬物、アルコール、または薬剤の影響下にあるときは、パワーツールを使用しないでください。電動パワーツールの操作中は、一瞬の不注意で重傷を負うおそれがあります。
- b) 作業者用保護装備を使用してください。必ず目のプロテクターを着用してください。使用する電動パワーツールと各作業に適した保護装備 (防塵マスク、耐滑安全靴、硬質ヘルメット、イヤープロテクター等) は、作業者が負傷する危険を低減します。
- c) 機械が偶発的に始動しないよう配慮してください。電動パワーツールのスイッチがオフになっているか確認してから主電源に接続したり、持ち上げたり、運搬したりしてください。オン/オフスイッチに指を載せるか、電動パワーツールのスイッチをオンにしたまま電動パ

ワーツールを運搬すると、事故が起きるおそれがあります。

- d) 設定用の工具やレンチを取り外してから電動パワーツールの電源を入れてください。工具やスパナを電動パワーツールの回転部品に取り付けたままにしておくと、負傷事故が起きるおそれがあります。
- e) 不自然な姿勢は避けてください。常に適切な足場とバランスを維持してください。想定外の状況下で電動パワーツールを制御しやすくなります。
- f) 適切な衣服を着用してください。ゆったりとした衣服や装身具は身に付けないでください。髪の毛や衣服を可動部に近付けないでください。ゆったりした衣服、装身具、長髪は、可動部品に絡まるおそれがあります。
- g) 集塵機を設置できる場合は、適切に接続し、使用してください。集塵機を使用すると、粉塵に関連する危険を低減することができます。
- h) 電動パワーツールに完全に慣れていても、油断したり、安全規則を無視したりしないでください。不注意によって一瞬で重傷を負うおそれがあります。

27.5 電動パワーツールの使用と保守

- a) 電動パワーツールに無理な力を加えないでください。用途に適した電動パワーツールを使用してください。適切な電動パワーツールを使用すると、設計上の速度で、より効率的かつ安全に作業が遂行されます。
- b) スイッチが故障している場合は、電動パワーツールを使用しないでください。スイッチで電源を制御できない電動パワーツールは危険であり、修理する必要があります。
- c) 電源からプラグを抜くか、本体からバッテリーバックを取り外してから、パワーツールの調整、アクセサリーの交換、またはパワーツールの保管を行ってください。こうした安全予防措置を講じると、電動パワーツールが偶発的に始動する危険が低減されます。
- d) 使用していない電動パワーツールは、子供の手の届かない場所に保管してください。操作に慣れていないか、取扱説明書や助言書をお読みいただいていない作業者には、電動パワーツールを使用させないでください。電動パワーツールは、訓練を受けていない作業者が使用すると危険です。
- e) 電動パワーツールとアクセサリーは、保守をしながら使用してください。可動部品のずれや固着、部品の損傷、電動パワーツールの機能に影響を及ぼすおそれがある他の不具合がないか点検してください。損傷している場合

は、電動パワーツールを修理してから使用してください。事故の多くは、保守が不適切な電動パワーツールによって引き起こされています。

- f) カuttingアタッチメントは、常に目立てをした清潔な状態に保ってください。刃先を目立てし、慎重に保守したCuttingアタッチメントを使用すると、作動しなくなる可能性は低くなり、制御が容易になります。
- g) 電動パワーツール、アクセサリ、工具ビット等は、作業条件と実施する作業内容を考慮しながら、これらの指示に従って使用してください。電動パワーツールを本来の用途以外に使用すると、危険な状況が生じるおそれがあります。
- h) ハンドルやグリップの表面は、オイルやグリースが付着していない、清潔で乾いた状態に保ってください。ハンドルやグリップの表面が滑りやすいと、電動パワーツールを適切に操作できなくなり、想定外の状況が生じたときに制御を失います。

27.6 バッテリーツールの使用と保守

- a) バッテリーを充電するときは、必ずメーカーが指定した充電器を使用してください。特定の種類のバッテリーパックに適した充電器を他のバッテリーパックに使用すると、火災の危険が生じることがあります。
- b) パワーツールは、必ず専用バッテリーパックと共に使用してください。他のバッテリーパックを使用すると、ケガおよび火災の危険が生じることがあります。
- c) バッテリーパックを使用していないときは、端子どうしを接続する可能性のあるペーパークリップ、硬貨、鍵、くぎ、ねじ等の小さな金属製の物体に近付けないでください。バッテリー端子を短絡させると、火傷や火災の原因になることがあります。
- d) 不適切な方法で使用すると、バッテリー液が漏れ出すことがあります。バッテリー液には触れないでください。誤って触れた場合は、水ですすいでください。バッテリー液が目に入ったときは、さらに医師の診断を受けてください。バッテリーから漏れ出した液は、炎症や火傷の原因になることがあります。
- e) 損傷したり、改造したりしたバッテリーパックやパワーツールは使用しないでください。損傷したバッテリーや改造したバッテリーは想定外の反応を示し、火災、爆発、負傷事故を引き起こすおそれがあります。
- f) バッテリーパックやパワーツールを火気や高温にさらさないでください。火気または

130 °C (265 °F)以上の温度によって爆発が生じるおそれがあります。

- g) 充電に関する指示をすべて遵守し、バッテリーパックやパワーツールは、取扱説明書に記載されている温度範囲を超える環境下では充電しないでください。不適切な方法で充電するが、規定の温度範囲外で充電すると、バッテリーが損傷し、火災が生じる危険が増すことがあります。

27.7 修理点検

- a) パワーツールの修理は認可を受けた修理技術者に依頼し、同一交換部品のみを使用してください。これにより、パワーツールの安全性を維持することができます。
- b) 損傷したバッテリーは、絶対に修理しないでください。バッテリーパックの修理は、必ずメーカーまたは認定を受けたサービス店に依頼してください。

27.8 刈払機/芝刈機およびエッジャーに関する安全上の注意事項

- a) 悪天候下、特に雷雨時は本機を使用しないでください。これにより、落雷に打たれるリスクを減らすことができます。
- b) 作業範囲に野生動物がいまいかどうかしっかり点検してください。本機動作中に野生動物が怪我をするおそれがあります。
- c) 作業範囲をしっかりと点検し、石、棒、ワイヤ、骨、その他の異物などはすべて取り除いてください。飛散した部品で怪我をする可能性があります。
- d) 本機を使用する前に、CuttingツールやCuttingユニットが損傷していないことを必ず確認してください。破損した部品は、怪我のリスクを高めます。
- e) 使用する前に、電源ケーブルと延長ケーブルに損傷や経年劣化がないかどうか確認してください。動作中に電源ケーブルが損傷したり消耗したりした場合は、本機のスイッチをオフにして電源プラグを抜くまでケーブルに触れないようにしてください。損傷した電源ケーブルや延長ケーブルは、感電、火災、重大な怪我につながる可能性があります。
- f) 各種保護プレートは本来の位置から移動させないでください。保護プレートは使用可能な、正常な状態で固定されていることが必要です。保護カバーがゆるんでいるたり、破損していたり、これに異常があったりすると、負傷につながるおそれがあります。

- g) 吸気口に堆積物がないようにしてください。吸気口が塞がり、堆積物がオーバーヒートや火災を発生させる危険があります。
- h) 保護眼鏡および聴力保護具を着用してください。適切な個人防護具を使用することで、負傷の危険を低減させることができます。
- i) 本機の動作中は、滑らない安全靴を必ず履いてください。裸足やサンダルでは絶対に作業しないでください。これにより、回転中のカッティングエレメントに接触して足に怪我をするリスクを減らすことができます。
- j) 本機の動作中は、ユーザーの脚を覆うズボン等の衣服を必ず着用してください。回転中のカッティングエレメントやスプールに接触すると、負傷するおそれがあります。
- k) 本機の動作中は周囲に人を近づけないでください。飛散した部品で重傷を負う可能性があります。
- l) 腰の高さより高い位置で本機を操作しないでください。これにより、カッティングエレメントとの偶発的な接触を回避し、不測の事態でも本機を制御しやすくなります。
- m) 草が濡れた状態で本機を使用しないでください。本機の使用中は走らず、歩いてください。これにより、滑って転倒して負傷する危険を低減させることができます。
- n) 急な斜面では本機を使用しないでください。これにより、制御を失い、滑って転倒し、怪我につながるリスクを減らすことができます。
- o) 斜面で作業をする場合は、足元がしっかりとれていることを確認します。常に斜面に対して身体が横向きになるように立って作業を行い、絶対に上や下に向いて作業を行わないようにしてください。また、作業方向を変える際には細心の注意を払ってください。これにより、制御を失い、滑って転倒し、怪我につながるリスクを減らすことができます。
- p) すべての主電源ケーブルを切断領域に近づけないようにしてください。電源ケーブルは生け垣および茂みに隠れている可能性があり、誤ってスプールやカッティングエレメントで破損したり、切ったりしてしまうことがあります。
- q) 身体のどの部分も回転中のカッティングエレメントやスプールに近づけないでください。機械から何らかの物を除去する際には、必ず電源を切ってから行なってください。回転中のカッティングエレメントやスプールに接触すると、深刻な怪我を負うおそれがあります。
- r) 機械は電源を切り、身体から離れた状態で持ち運んでください。本機を適切に取り扱う

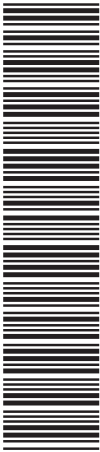
ことにより、回転中のカッティングエレメントやスプールと接触する危険を低減させることができます。

- s) メーカーの指定内容にしたがった交換用カッティングアタッチメントや合成樹脂製カッティングスプールおよびカッティングエレメントを必ず使用してください。誤ったスベアパーツを使用すると、コントロールを失ったり、破壊や負傷につながったりするおそれがあります。
- t) 合成樹脂製スプールや刃を金属製ワイヤーや金属製刃と交換しないでください。推奨されていないカッティングエレメントの使用によって負傷が発生するおそれがあります。

www.stihl.com



0458-039-4301-A



0458-039-4301-A